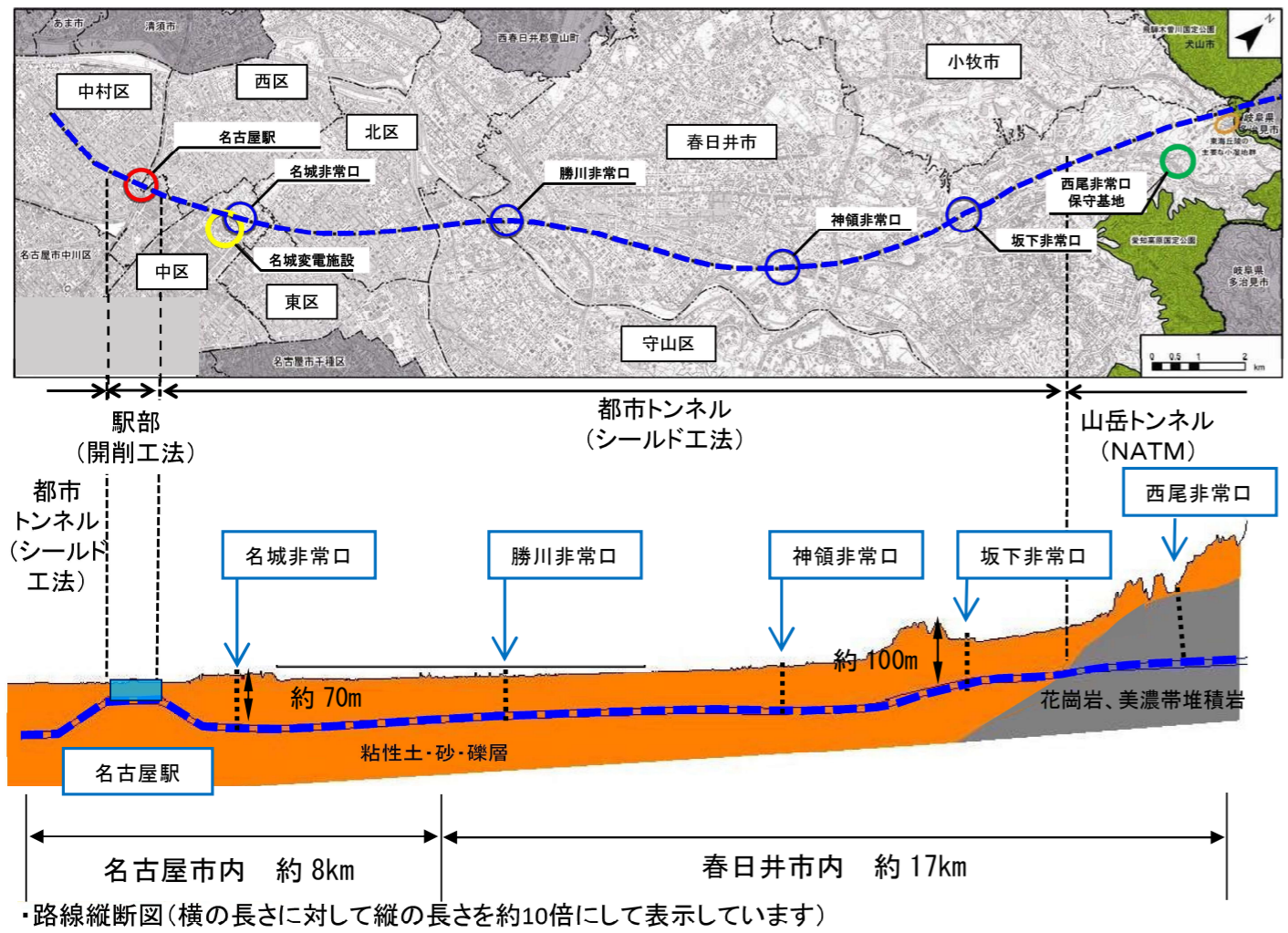
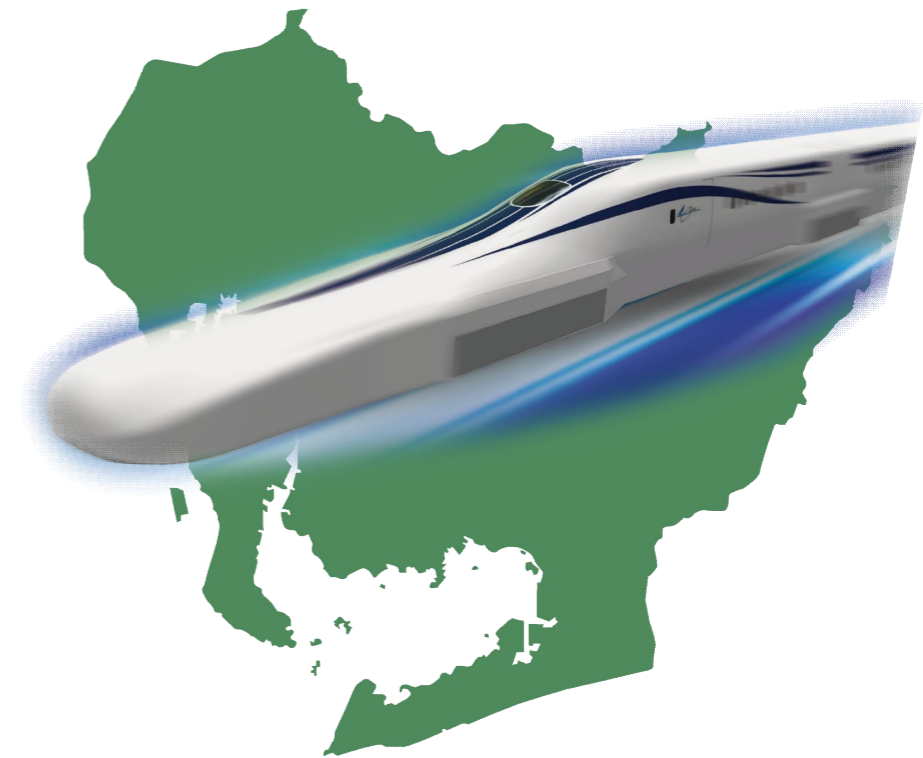


参 考

リニア中央新幹線について(愛知県内)

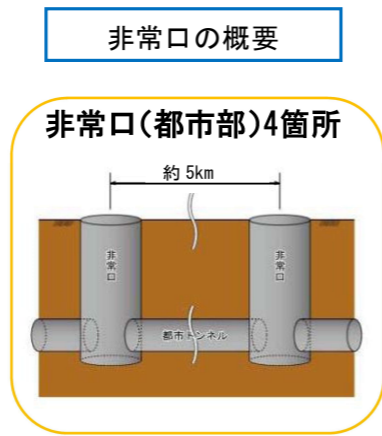
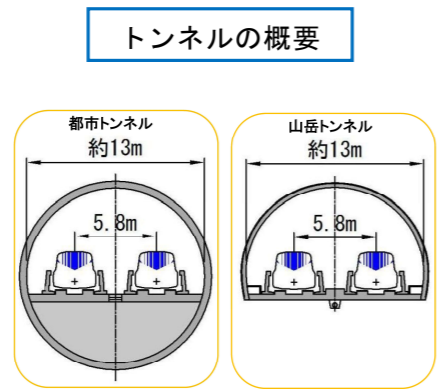
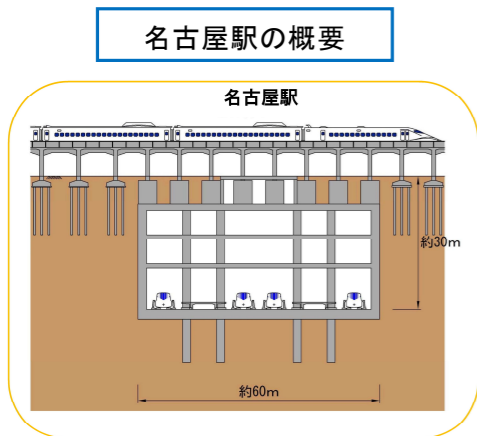


リニア中央新幹線の建設促進に関する要望書



2025年10月

愛知 知 県
 名古屋商工会議所
 一般社団法人中部経済連合会



要 望 書

リニア中央新幹線の開業により、東京・名古屋・大阪間の時間距離が大幅に短縮され、三大都市圏を結ぶ世界に類を見ない魅力的な経済集積圏となる日本中央回廊が形成されます。特に、東京・名古屋間の開業によって、中部国際空港、新東名高速道路などとともに交流の基盤となる広域交通ネットワークを形成することで、本県の経済・社会に大きな波及効果をもたらすことが期待されています。

本県内のリニア中央新幹線の建設については、名古屋駅の新設工事を始め全工区で順調に進んでいる中、本年6月には坂下西工区で大深度地下でのシールドマシンによる本格的な掘進工事が開始され、本プロジェクトの大きな節目を迎えたところです。一方、静岡工区については、今日まで工事着手に至っていないことから、まずは東京・名古屋間の早期開業を目指し、国及び東海旅客鉄道株式会社が有識者会議で取りまとめられた報告書を踏まえ、地元自治体の理解を得ながら早期着手を図ることが必要です。

名古屋駅は、JR線（新幹線、東海道本線、中央本線、関西本線）、名鉄線、近鉄線、地下鉄東山線・桜通線、あおなみ線、バスターミナルなど、多数の交通機関が集中し、これらの交通施設が地上・地下に入り組んで配置されていることから複雑で分かりにくい構造となっています。さらに、リニア中央新幹線の開業によって、我が国有数の巨大ターミナル駅となることから、初めて訪れる方や外国人旅行者を始めとする誰もが使いやすい駅とするため、交通機関相互の乗換利便性の向上等を目指した名古屋駅のスーパーターミナル化を強力に推進してまいります。

とりわけ、広域行政としての役割を担う愛知県としては、乗換先など各方面が一目で見渡せ、上下移動も円滑にでき、案内機能も備えたわかりやすい乗換空間「ターミナルスクエア」の形成の推進や、「名古屋駅周辺まちづ

くり構想」に基づく駅上部空間や駅周辺の整備の取組を支援していきます。

また、このリニア中央新幹線の開業による首都圏との時間短縮効果をより広域的に波及させるため、名古屋駅を中心とした40分交通圏の拡大など、リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化等の取組を進めているところであります。

つきましては、次の事項について、格別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 1 リニア中央新幹線の早期全線整備に向け、まずは、東京・名古屋間について、事業を着実に進め、特に静岡工区の早期着手を図り、その上で開業時期が示されるよう、引き続き国として積極的に関与すること。
- 2 名古屋駅のスーパーターミナル化について、国際競争拠点都市整備事業等により、強力に支援すること。特に、ターミナル駅となる名古屋駅の乗換利便性の向上、駅上部空間及び駅周辺の整備に関して、十分な財政措置を講じること。
- 3 リニア中央新幹線開業による時間短縮効果を県内に波及させるため、交通ネットワーク充実等の施策に関して支援すること。

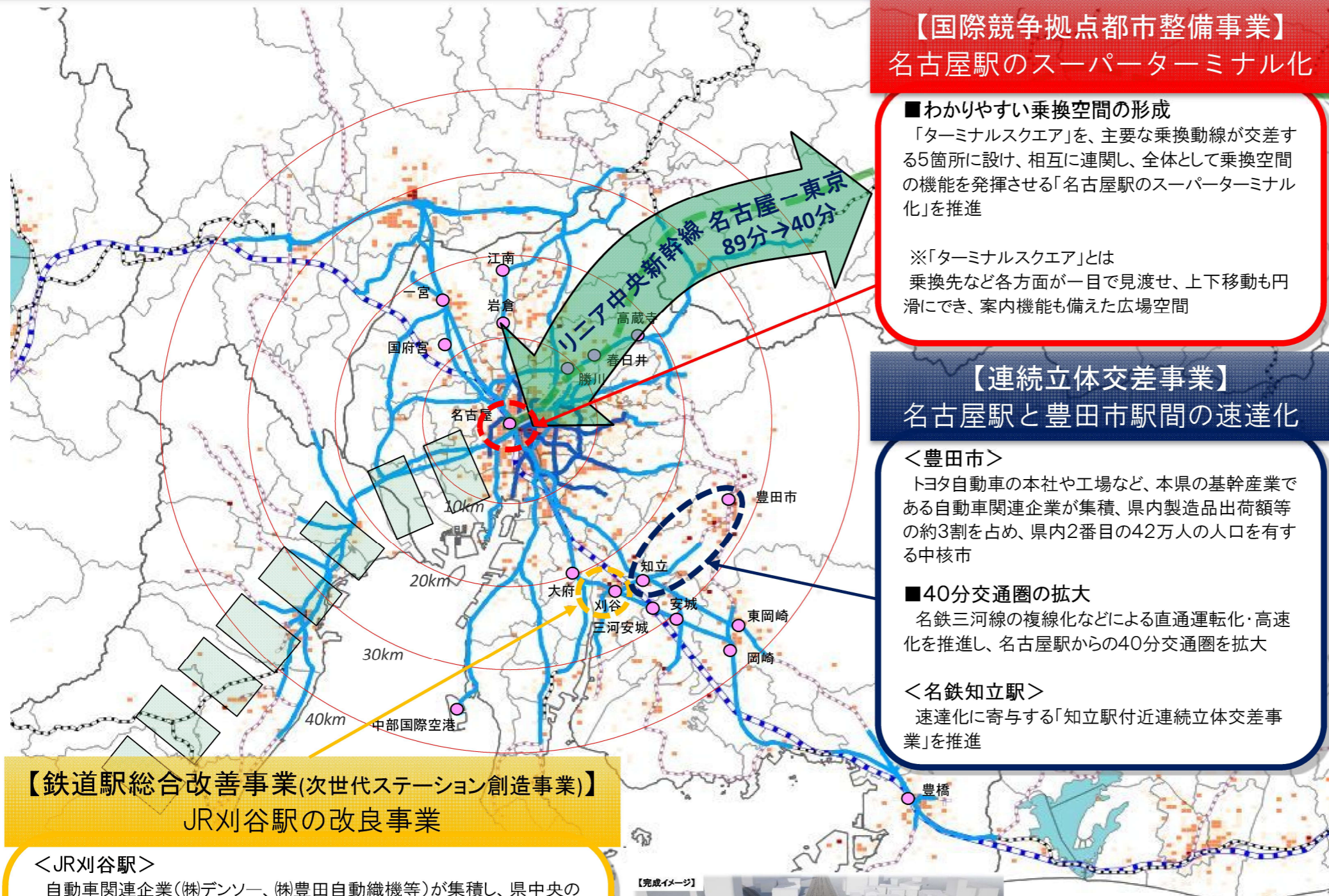
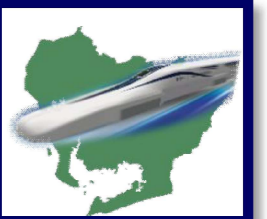
2025年10月

愛知県知事	大村秀章
名古屋市長	広沢一郎
名古屋商工会議所会頭	嶋尾正
一般社団法人中部経済連合会会長	勝野哲

リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化

～名古屋駅の乗換利便性の向上、名古屋駅からの40分交通圏の拡大等～

【愛知県】



【国際競争拠点都市整備事業】 名古屋駅のスーパーターミナル化

■わかりやすい乗換空間の形成

「ターミナルスクエア」を、主要な乗換動線が交差する5箇所に設け、相互に関連し、全体として乗換空間の機能を発揮させる「名古屋駅のスーパーターミナル化」を推進

※「ターミナルスクエア」とは
乗換先など各方面が一目で見渡せ、上下移動も円滑にでき、案内機能も備えた広場空間



ターミナルスクエア2



名鉄名古屋駅地区再開発計画

ターミナルスクエア3

●名古屋駅ターミナルスクエア(東側エリア)のイメージ

【連続立体交差事業】 名古屋駅と豊田市駅間の速達化

<豊田市>

トヨタ自動車の本社や工場など、本県の基幹産業である自動車関連企業が集積、県内製造品出荷額等の約3割を占め、県内2番目の42万人の人口を有する中核市

■40分交通圏の拡大

名鉄三河線の複線化などによる直通運転化・高速化を推進し、名古屋駅からの40分交通圏を拡大

<名鉄知立駅>

速達化に寄与する「知立駅付近連続立体交差事業」を推進



●速達化に寄与する知立駅付近連続立体交差事業

【鉄道駅総合改善事業(次世代ステーション創造事業)】 JR刈谷駅の改良事業

<JR刈谷駅>

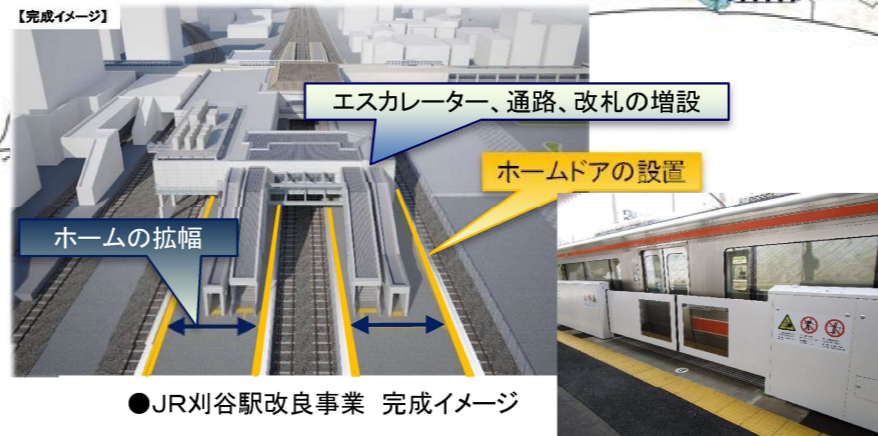
自動車関連企業(株デンソー、株豊田自動織機等)が集積し、県中央の重要な交通結節点として1日約8万人が利用(県内JR駅で4番目に多い乗降客数)

■安全・安心な歩行空間の確保

ホームを拡幅し歩行空間を広げる他、ホームドアの設置により、ホームの転落事故を防止し、利用者の安全性を向上

■利便性の向上

コンコースの拡張やエスカレーター、通路、改札の増設等により人の流れをスムーズにし、降車から改札口までの所要時間を短縮



【完成イメージ】

エスカレーター、通路、改札の増設

ホームドアの設置

ホームの拡幅

●JR刈谷駅改良事業 完成イメージ

鉄道路線

- 名古屋駅から40分以内の区間
- (名古屋市営地下鉄)
- リニア中央新幹線
- 東海道新幹線
- 鉄道(JR)
- 鉄道(JR以外)
- 県内主要駅

全産業従業者数

(4次メッシュ:約500m四方)

- 501-1,000
- 1001-5,000
- 5,001-